

**【問い合わせ】** 口の中にもがんができる。そうですが、実際にはどのような場合が多いのですか。義歯が歯茎に食い込んで、それががんになることはあるのでしょうか。

(長崎市・62歳・女性)

**【答える】** 口の中にできるがん(口腔=こうくう=がん)の発生頻度は、全体の1・35%とほかの部位よりも比較的少ないようです。そ

回答者 山辺 滋  
山辺歯科院長

薬品)、放射線、ウイルス、生活習慣(喫煙・飲酒)などが挙げられています。また、歯牙や義歯による機械的刺激もまれに誘因となり得ますので、とがった歯牙や義歯が粘膜に食い込んで

まれに義歯食い込みでも

す。口腔粘膜が白い斑状に見えるのは、白斑症(前がん病変)だったり、初期のがんの場合もあります。がんの診断には、病変の表面を擦過して行う細胞診

を行なえば、リンパ節やほかの臓器に転移する場合もあります。ひょっとしたら、と心配でしたら、できるだけ早くかかりつけの歯科医に相談し、「口腔外科専門医」を受診することをお勧めします。

この欄は相談コーナーです。特に歯の健康について疑問を感じた方はどうぞ質問ください。県歯科医師会の先生方が回答します。相談希望の方は症状を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係までお送りください。なお直接本人への回答はいたしません。しかし、不明な点を問い合わせる場合はありますので、住所、氏名、電話番号をはっきり書いてください。

質問をどうぞ



の中で生じやすい部位は、歯肉(歯茎)と舌で、歯肉では白歯部、舌では舌の周囲に発生する頻度が高いと報じられています。年齢的には、男性では六十歳代、

女性では七十歳代に最も多く認められます。一般的な原因として、ほかの悪性腫瘍(しゆよう)と同様に、遺伝要因や化学物質(大気汚染、食事、医療)の影響が大きいもので

は一般的に痛みはある程度のごく軽いもので

いる場合は必ず処置を受けてください。口腔がんは痛みや出血の自覚症状として、初期に進行していることが多いので、異常を感じたときは自分の口の中をのぞいてみてください。発見が早いと、がんのサイズも小さいので予後も良好です。しかし、

病理検査を行い確定します。

口腔がんは痛みや出血の自覚症状として、初期に進行していることが多いので、異常を感じたときは自分の口の中をのぞいてみてください。発見が早いと、がんのサイズも小さいので予後も良好です。しかし、

病理検査を行い確定します。

# 長崎新聞

発行所 長崎新聞社

長崎市茂里町3-1 〒852-8601  
振替口座01840-9-4000番

■主な電話番号  
市外局番095  
内 844-2111  
本部 844-2114  
合道 844-2120  
総報部 844-4874  
メディア編集部 844-5063  
広報部 844-5261  
販売業務部 844-2112  
読者サービス委員会 844-2121  
長崎新聞文化ホール 846-0676  
アド長崎新聞 佐世保編集(0956)22-9145  
佐世保販売(0956)22-2291  
©長崎新聞社2007

9月3日(月)  
(仏滅・旧暦7月22日)



長崎新聞ホームページ  
<http://www.nagasaki-np.co.jp/>